

令和5年度 公開講座（短期課程）

コース名	教科書の内容を現場に落とし込む“生産改善・革新セミナー” 「デジタル技術や人協働ロボット活用による“生産改善のDX”」	
担当科名	機械システム系メカトロニクス科	
講 師	山口俊憲	
実施日時	①	令和5年11月15日（水） 18:00～21:00
	②	令和5年11月22日（水） 18:00～21:00
	③	令和5年11月29日（水） 18:00～21:00
	④	令和5年12月 6日（水） 18:00～21:00
	⑤	令和5年12月13日（水） 18:00～21:00（計15時間）
募集定員	6人（最大10名程度）（最少実施人数2人）	
募 集 対 象	対象職種：不問（事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能）	
	受講に必要なレベル：不問（受講生の状況・希望に応じて 基礎から実施 ）	
目 標	生産現場での活用が期待される DX ツールの概略を知る。	
講 座 内 容	生産現場では ICT（情報通信技術）・IoT などのデジタル化（DX：デジタルトランスフォーメーション）やロボットの活用が言われています。近年、これらを容易に導入できる機器が多数開発されています。 本講座では、最近、本校メカトロニクス科に導入された最新の簡単便利ツールである「からくり装置」、「人協働ロボット」、「簡単制御機器」、「人間行動分析ツール」などの使い方を学び、これらを現場でどのように活用するかについて検討します。	
他のコースとの関連性	この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「生産改善のDX」等に関する講義・実習の受講を一部免除する。	
履 修 項 目	①ものづくり技術の変化	(1 時間)
	②からくり装置の活用（アルミ構造材）	(2 時間)
	③ デジタル技術を活用した人間行動の分析 （OTRS、AI 技術による姿勢推定、眼球運動解析装置）	(3 時間)
	④簡単制御機器の活用（SiO）	(3 時間)
	⑤生産シミュレータの活用（Flex Sim）	(3 時間)
	⑥協働ロボットの活用（COBOTTA、あるいはファナック CRX-10iA）	(3 時間)
使用装置 ソフト・ 図 書 等	人協働ロボット（COBOTTA、あるいはファナック CRX-10iA）、 生産シミュレータ（Flex Sim）、 動作分析ツール（OTRS）、PLC 代替簡単制御機器（SiO）、 眼球運動解析装置、からくり装置、AI 技術を活用した姿勢推定など	
必 要 な 持 ち 物	筆記用具	
受 講 費 用	受 講 料：6, 9 0 0 円（1 5 時間コース）	
	自己負担：なし	
留意事項 等	8つの講座からなる生産改善・革新セミナーは地域企業を中心に現場改善に取り組む同一教員が全て担当しています。全て受講いただくと生産改善に必要な内容を網羅することができますが、それぞれ独立していますので講座一つでも受講可能です。一つだけ受講される方、複数講座を受講される方、様々いらっしゃいます。	